



Providing peace of mind
and satisfaction

ティーズフューチャーのDNA
最高の安心と満足の提供



30年以上に亘り「お客様IT資産の安全な処分」をするためのプロフェッショナル企業として「最高の安心と満足の提供」にこだわり続けて参りました。培った「技術力」と「仕組み」その「安全性」によって、お客様からの「信頼」を大切にすることこそが当社の1番の強みです。

目に見えない情報を確実に消去し、環境に配慮した処分を行うことで「最高の安心と満足」を皆さまにご提供します。

企業理念



妥協なき機密管理と品質管理で
お客様の信頼を守り続ける。



全員がリーダーシップを持って
ビジネス全体を見通し、学び、タスクに還元する。



IT機器のマテリアルフローを最適化し、
環境問題に 대응する。

IT機器の処分と管理を
より適切により安全により環境に優しく行います。

IT資産の適正処理

目に見えない情報を確実に消去して証跡と証拠を残すと同時に、
適切なリユース処理によりCO₂の排出を削減させます。



CO₂削減効果報告書
新品の製造工程とリユース処理工程における
CO₂排出差異数値による削減効果の報告書を提出

リユースPC共同寄贈
お客様のPCやタブレットを
非営利のNPO団体や施設等に共同で寄贈

CO₂の排出削減

リユースPC提供
安心・安全・環境に優しい
リユースPCをご提供

リサイクル処理
100%に近いリユース・リサイクル率

データ消去管理

進捗管理

回収からご精算までのステップごとに作業情報と結果をリアルタイムで確認が可能

過去案件管理

過去案件での機器情報・作業情報・回収情報・データ消去情報などの確認が可能

消去管理

データ消去が完了した機器の個品ごとに作業履歴・データ消去証明書の確認が可能

帳票管理

過去・現在に至るまでの見積書・請求書・証明書等のすべての帳票確認が可能

その他情報システム支援

- ・サーバーアンラック
- ・キitting
- ・リース/レンタル
- ・リース品返却代行
- ・OA機器リサイクル
- ・リユースPC販売



IT資産処分のプロとして3つの対策による安心・安全

物理的な対策

作業施設のセキュリティ対策

業界最高レベルのセキュリティ体制を備えた
当社自前のリユース・リサイクルセンター

IT資産を適切に処分するために作られた自社専用施設であり、安全に保管し適切に処理をするための構造と専門機材・機器を備えています。

他社との併用施設ではない自社保有施設のため、荷物の混在や人の出入りも当社スタッフ以外は制限されており、より高いセキュアな対策を実現しています。



施設外壁

レーザー式感知センサー

受付

指紋認証システム
自動チャイム&身元確認

管理室

全方位360°監視カメラ24時間監視
搬入口シャッターの監視

搬入口

搬入口シャッターの一元管理

作業服

ポケットレス作業服着用

全域

カメラ付き人感センサー

出入口

2名以上での入退出ルール
出入り口を1箇所限定
顔認証システム
セキュリティゲートと金属探知機

仕組み上の対策

トレーサビリティ管理

基幹システム | 個品管理・作業管理

● 機器本体と記憶媒体のシリアル自動抽出と紐付け



個品ごとにQRコード管理。システム側が自動抽出する記憶媒体の個品シリアル番号とPC等の機器本体をシステム側が自動で紐付け。

● 作業トレーサビリティ



IT資産処分専用のシステムにより回収情報、作業内容、個品仕様、データ消去状況まで個品と案件・進捗の全てをデジタル管理・追跡。

● 誤作業・誤出荷防止



システム側でデータ消去ログと破砕画像のない個品は、次のステップに進めず作業終了フラグが立たない仕組み。

第三者評価

外部認証と外部監査

取得資格	<p>[品質] [情報] [環境] [労働]の4つの国際マネジメント規格を取得</p> <p>①ISO9001 ②ISO27001 ③ISO14001 ④ISO45001</p>
R2 認証	<p>グローバル基準のリサイクルライセンス「R2」を取得</p> <p>①国際基準の適切な処理プロセス ②環境に配慮した処理 ③排出先の管理(追跡)</p>
外部監査	<p>外資系メーカーのPC買取・PCリサイクルパートナー認定及び外部監査の受け入れ</p> <p>①【月1回】抜き打ち監査 ②【年1回】定期監査と活動報告書の提出</p>
RMJ認定	<p>総務省参画の一般社団法人リユースモバイルジャパン [RMJ] 認定事業者</p> <p>①モバイル機器のRMJリユースガイドライン準拠 ②法令遵守 ③バッテリー検査と表示販売</p>



品質マネジメント
ISO9001



情報セキュリティ
ISO27001



環境マネジメント
ISO14001



労働安全マネジメント
ISO45001



責任あるリサイクル
「R2v3」



リユースモバイル事業者
認定番号221205(1)/221206(1)





04-1 / SUSTAINABILITY

持続的な社会実現に向けた取組み

「社会があり、お客様があるから我々がある」という創業当時の経営哲学に基づき、リユース・リサイクル事業を通じた多角的な取組みにより持続可能な社会を目指します。

サステナビリティ宣言

持続可能な地球環境のために環境保全を推進していきます。
地域社会との関わりによって社会課題を共に解決していきます。
多様な一人一人の人材と共に成長し社会に活力を与えていきます。



CO₂排出削減

不要OA機器の再利用・再資源化



私たち企業はPCを含めたOA機器を数多く使用しており、数多く新製品化し続けてきましたが、「つくる責任・つかう責任」が問われています。再利用・再資源化を推進させ適切に処置することにより、気候変動やCO₂排出を抑制いたします。

限りなく100%に近い再資源化率



そのまま廃棄することなく、当社施設内で再利用化・再資源化に努めており、循環型社会に貢献すると共に可能な限り廃棄物としないよう再利用化・再資源化に取り組んでいます。

CO₂削減効果報告書の提出



PCをリユースする事が直接CO₂の排出削減に寄与します。新製品の資源採掘からの製造工程とリユース処理工程のCO₂排出差異を、リユース効果として数値に換算したCO₂削減効果報告書をお客様毎に提出致します。




CO₂削減効果報告書


リユース品の提供





企業のリユース利用を高めるために、安心・安全・高品質のリユース品を提供しています。前使用者の情報を削除(データ抹消とシール等の剥離)し、厳格な検品をクリアしたリユースPCやタブレット等の企業利用を促進しています。


SDGsとの関わり


4 質の高い教育をみんなに
 質の高い教育をみんなに
 質の高い教育をみんなに
 児童保育や学校等に
 NPO法人等を通じたPCの寄贈活動

5 ジェンダー平等を実現しよう
 ジェンダー平等を実現しよう
 ジェンダー平等を実現しよう
 性的マイノリティや女性が
 躍進しジェンダー平等な職場環境

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 太陽光パネルの発電設備により
 再生エネルギーを促進

10 人や国の不平等をなくそう
 人や国の不平等をなくそう
 人や国の不平等をなくそう
 人や国の不平等をなくそう
 就労継続支援A型支援や養護学校支援

12 つくる責任 つかう責任
 つくる責任 つかう責任
 つくる責任 つかう責任
 つくる責任 つかう責任
 事業を通じてリユース・リサイクル率99%を達成

13 気候変動に具体的な対策を
 気候変動に具体的な対策を
 気候変動に具体的な対策を
 気候変動に具体的な対策を
 気候変動に具体的な対策を
 気候変動に具体的な対策を
 お客様にCO₂排出削減効果値を提出

地域社会との関わり

社会福祉

【実習】養護学校生徒への作業実習

養護学校の生徒にPCリユース・リサイクルに関する一連の作業の実習を実施しました。



教育支援

【情報教育】プログラミング用PC寄贈

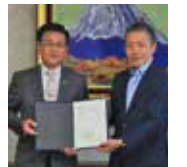
プログラミングを学びたい学童クラブの子供たちの教育用にNPO団体を通じてリユースPCを寄贈しました。



地域発展

【ふるさと納税】地域プロジェクトへの寄付

秦野市の移住・定住プロジェクトに対し、企業版ふるさと納税を活用し、寄付しました。
 【寄付実績】令和4年度、令和5年度



お客様との共同寄贈

お客様とのPCの共同寄贈プロジェクト「架け橋」

お客様のPCと当社のサービスが、リユースPCを必要としている人達への架け橋となり、平等な社会形成を支援します。



その他サステナビリティ活動については特設サイトを設けております。

<https://www.tsfuture.jp/sustainability/>



寄贈したPCの役目が終わっても最後まで再利用

- ・リユースして再販又は新たに寄贈
- ・リサイクルして資源化

「社会があり、お客様があるから我々がある」
リユース・リサイクル活動を通じて、
地球環境と情報社会のあるべき姿を創造してまいります。

株式会社ティーズフューチャー

代表取締役 安川 鋼

現代社会における情報技術はめまぐるしい発展を続けており、いまスマートフォンひとつで金融取引をはじめ、ネットショッピングや宅配サービスのオーダーまでできる便利な世の中になっております。同時に、情報機器の新規開発、製品化も留まることを知らず、全世界でのスマートフォンの年間出荷台数は12億7,600万台を超え、パソコンの年間出荷台数は2億8,600万台を超えるという大量生産の時代を迎えております。

一方で、新しい製品やサービスが生まれると、同時にそれらに代わる製品は処分・廃棄されるという処理のサイクルも生じており、大量生産・大量消費という物資豊富な経済社会において、廃棄物処理に関する環境問題、資源問題はひとつの大きな課題としてクローズアップされております。

更には、情報機器の中にある記憶媒体には、お客様の機密情報や個人情報などの重要な情報が残されており、それらの情報機器を廃棄、処分する際は徹底したセキュリティ対応が要求され、膨大な手間とコストが必要とされる時代でもあります。

当社は、創業から約30年、こうした社会の変遷と共に、使用済みパソコンやスマートフォンなどの情報機器に残されているお客様の大切な情報資産を、安心、安全、且つ確実に処理するサービスを提供し、同時に、できる限り地球環境に負荷を与えない形でリユース（再使用）、リサイクル（再資源化）を行う事業を展開しております。

企業にとって最も大切なものは「信頼」です。

企業が持続的に成長するためには、社会、お客様からの支持が大切であり、当社ではすべてのステークホルダーの皆さまとの信頼関係を基盤にこれからも事業を拡大、地球環境と情報化社会のあるべき姿を創造することで、自らの社会的責任を果たしてまいり所存でございます。「社会があり、お客様があるから我々がある」、それは変わらぬ当社の基本理念です。

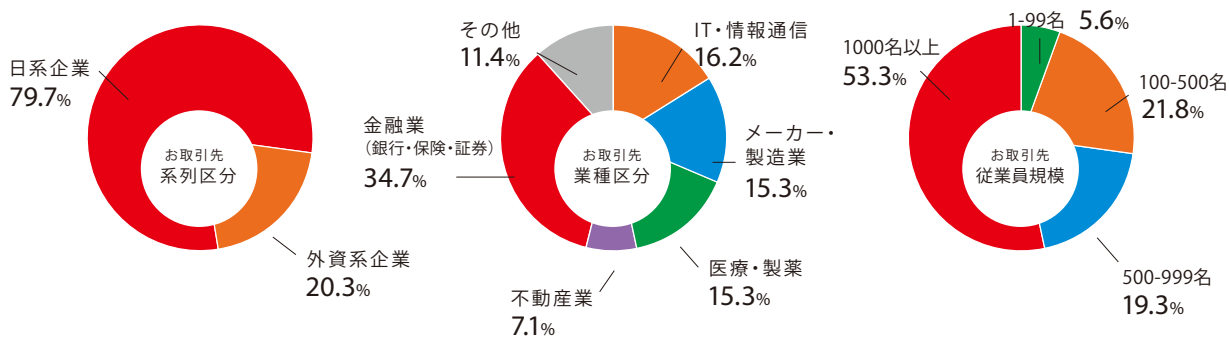
引き続き、皆様のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



Customer base

お客様層

金融・生損保・外資系企業から求められる、強度の高いセキュアな環境とサービス品質において、一定の条件・資格などに適合して選ばれています。



Company Profile

会社概要

会社名 株式会社ティーズフューチャー 英文名:T's FUTURE CO.,LTD.

所在地 【本社】
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-2-2 UUR京橋イーストビル8F
TEL:03-5550-7222(代)
都営浅草線「宝町駅」より徒歩 3 分 日比谷線「八丁堀駅」より徒歩 4 分
銀座線「京橋駅」より徒歩 5 分 有楽町線「新富町」より徒歩 5 分

【リユース・リサイクルセンター】
〒259-1306 神奈川県秦野市戸川24-1

【中古販売店】OraOra!Returns
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-6-6 松田ビル1F・2F

設立 1990年 3月

資本金 100,000千円 ※資本準備金204,800千円

事業内容 PCを中心としたIT・OA機器の買取及びデータ消去を含めたリユース・リサイクル業

役員 代表取締役 安川 鋼
常務取締役 朴 民浩
取締役 山本 正卓 ゲンダイエージェンシー(株) 取締役(元 代表取締役最高経営責任者(CEO))
取締役 牛之濱 将太 CrossOver法律事務所パートナー
常勤監査役 儀賀 一郎

History

沿革

1990

- 3月 事務機器のリサイクル事業を目的として、兵庫県尼崎市に日新産商株式会社を設立

1991

- 10月 神奈川県産業廃棄物処分業許可、収集運搬業許可を取得／神奈川県秦野市に工場(元リサイクルセンター)を開設

1995

- 11月 神奈川県秦野市に本社移転

1997

- 12月 本社及び工場(元リサイクルセンター)においてISO14001を認証取得

1999

- 3月 財団法人グリーン・ジャパン・センターより再資源化開発事業における会長賞を受賞
- 7月 中古パソコンのリユース事業を目的として、東京都中央区に株式会社タオを設立
当該会社は2004年4月に日新産商株式会社と合併し、存続会社である日新産商株式会社は合併と同時に社名を株式会社タオに変更(合併消滅会社である株式会社タオと合併後の株式会社タオを区別するため、以下では、合併消滅会社を「旧タオ」という

2002

- 1月 千葉県習志野市に東日本キittingセンター(元首都圏リユースセンター)を移設(旧タオ)
- 10月 デル(株)の広域再生利用指定に係る指定業者として登録 神奈川県秦野市に東日本キittingセンターを開設(旧タオ)

2003

- 4月 神奈川県秦野市に秦野第二工場(元リユースセンター)を開設(旧タオ)

2004

- 4月 リユース事業強化のため、日新産商株式会社が旧株式会社タオを吸収合併し、商号を株式会社タオに変更関西リサイクルセンターと西日本キittingセンターを統合し、西日本リユースリサイクルセンターに名称変更
- 6月 東京都中央区八丁堀に本社移転

2006

- 6月 商号を株式会社ティーズフューチャーに変更

2007

- 2月 東京都中央区明石町に本社移転

2009

- 7月 神奈川県秦野市にリユースリサイクルセンターを開設
(敷地総面積:1,572坪、建物総床面積:1,048坪)首都圏リユースセンター、東日本リユースセンター及び東日本リサイクルセンターをリユースリサイクルセンターに移転・統合
- 12月 本社及びリユースリサイクルセンターにおいてISO9001、ISO14001、OHSAS18001を認証取得

2010

- 5月 韓国で中古パソコンのリユース事業を展開するために、合併会社 Secureco Co. Ltd.(のちにT's Future Korea., Ltd.)を設立
- 12月 本社及びリユースリサイクルセンターにおいてJIS Q 27001(ISO/IEC 27001)を認証取得

2011

- 11月 東日本大震災義援金 2,444,450円 寄付

2018

- 3月 東京都中央区八丁堀に本社移転
- 6月 リユースリサイクルセンターにおいて R2:2013(Responsible Recycling:責任あるリサイクル)を認証取得

2019

- 10月 東京都千代田区に店舗「OraOrA!Returns」開店

2021

- 1月 ROCS(Remote Onsite Crush Service)サービス開始

2022

- 10月 一般社団法人リユースモバイル・ジャパン 正会員加盟

2025

- 3月 神奈川県処分業許可において、優良産廃処理業者認定を取得



CONTACT

株式会社ティーズフューチャー

〒104-0032

東京都中央区八丁堀4-2-2 UUR京橋イーストビル 8F



ホームページ
www.tsfuture.jp